

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和4年7月5日(2022.7.5)

【国際公開番号】WO2020/003123

【公表番号】特表2021-529857(P2021-529857A)

【公表日】令和3年11月4日(2021.11.4)

【出願番号】特願2020-573001(P2020-573001)

【国際特許分類】

C 0 9 J 1 5 3 / 0 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 9 J 1 1 / 0 8 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 9 J 1 1 / 0 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 9 J 7 / 3 8 ( 2 0 1 8 . 0 1 )

10

【F I】

C 0 9 J 1 5 3 / 0 2

C 0 9 J 1 1 / 0 8

C 0 9 J 1 1 / 0 4

C 0 9 J 7 / 3 8

【手続補正書】

20

【提出日】令和4年6月24日(2022.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

接着剤組成物であって、

中間ブロックセグメント及び複数の末端ブロックセグメントを含むブロックコポリマー成分であって、各末端ブロックセグメントがポリスチレンを含む、ブロックコポリマー成分と、

30

50 ~ 160 のガラス転移温度を有する(メタ)アクリル官能性添加剤と、

前記中間ブロックセグメントと相溶性であり、炭化水素を含む第1の粘着付与剤と、

前記末端ブロックセグメントと相溶性であり、ポリフェニレンエーテルを含む第2の粘着付与剤と、

を含む、接着剤組成物。

【請求項2】

前記第1の粘着付与剤が、80 ~ 160 の軟化点温度を有する、請求項1に記載の組成物。

40

【請求項3】

前記第2の粘着付与剤が、100 ~ 230 の軟化点温度を有する、請求項1又は2に記載の組成物。

【請求項4】

前記(メタ)アクリル官能性添加剤が、第1の(メタ)アクリル官能性添加剤であり、-60 ~ 25 のガラス転移温度を有する第2の(メタ)アクリル官能性添加剤を更に含む、請求項1 ~ 3のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項5】

前記組成物が発泡組成物を含む、請求項1 ~ 4のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項6】

50

テープであって、  
支持体と、  
前記支持体上に配置され、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の前記組成物から構成される感圧接着剤と、  
を備える、テープ。

【請求項 7】

接合アセンブリであって、  
基材と、  
前記基材上に配置され、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の前記組成物から構成される感圧接着剤層と、  
を備える、接合アセンブリ。

10

【請求項 8】

前記基材が低表面エネルギー基材を含む、請求項 7 に記載の接合アセンブリ。

【請求項 9】

接合アセンブリの製造方法であって、  
請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の前記組成物をポリマー溶融物を得るのに十分な温度まで加熱することと、  
前記ポリマー溶融物を基材上に配置することと、  
前記ポリマー溶融物及び前記基材を冷却して、前記組成物のミクロ相分離を誘導し、前記接合アセンブリを得ることと、  
を含む、製造方法。

20

【請求項 10】

パッケージ接着剤の製造方法であって、  
請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の前記組成物をポリマー溶融物を得るのに十分な温度まで加熱することと、  
前記ポリマー溶融物を剥離面上に配置することと、  
前記ポリマー溶融物及び基材を冷却して、前記組成物のミクロ相分離を誘導し、前記パッケージ接着剤を得ることと、  
を含む、製造方法。

30

40

50